

令和5年度第14回神戸市教育委員会会議の結果

※政策形成過程を公表する趣旨から、非公開とした会議項目のうち、会議後に方針等が公表されたものは、議論の過程の一部についても記載しています。

協議事項27 2024年度特別支援学校リハビリテーション専門員（実習助手）採用選考について

2024年度特別支援学校リハビリテーション専門員（実習助手）の採用選考等について協議した。

特別支援学校リハビリテーション専門員（実習助手）には、特別支援が必要な児童生徒を支援する多様なスキルが求められるため、研修や専門員同士の交流等のフォローアップを行い、子供たちにとって必要なサポートが受けられるよう取り組んでいくべきである等の意見があった。

協議事項39 第4期教育振興基本計画について

第4期教育振興基本計画について協議した。

現在実施しているアンケートについて、より多くの意見を聞き、計画の参考とするためにも、未回答の方々への周知等が必要である等の意見があった。

協議事項41 不登校支援の取組みについて

不登校支援の取組みについて協議した。

11月17日に開催された、フリースクール等との情報交換会の実施について報告を受け、市の不登校支援の充実に向けた基本方針を積極的に広報する必要性や、学校とフリースクール等のさらなる連携の検討、不登校の児童生徒が参加できるような相談会の開催など、引き続き様々な取組みを進めていく必要がある等の意見があった。

協議事項42 就学・教育支援委員会 視覚障害教育部会について

就学・教育支援委員会の視覚障害教育部会での検討状況について協議した。

視覚障害教育の現状と課題を踏まえ、教育の機会を保障し、引き続きインクルーシブ教育を推進していくためにも、子供や保護者が適切な学びの場を選択していけるような仕組みづくりが必要である等の意見があった。

協議事項 43 2024 年度教員採用選考 特別選考について

教員不足による影響に対応し、安定的な学校教育を進めていくため、2024 年度教員採用選考における特別選考を対象者を拡大して実施すること等について協議した。

協議事項 44 2025 年度教員採用選考について

2025 年度の教員採用選考の実施について協議した。

全国的に教員不足が深刻化しており、より多くの教員志望者に本市を受験してもらえよう、他都市の動向を踏まえつつ、選考制度の見直しや採用選考の広報の工夫等の検討が必要である等の意見があった。